

2017年3月4日(土)オープン

～楽しい発見いっぱい。～ New「チ拉拉のハローガーデン」

～あの「ぶんぶんばち」が進化して帰ってくる～

空へはばたけ！初めての空中体験！ 新アトラクション「ぶんぶんばち」登場

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)に2017年3月オープンするエリア、New「チ拉拉のハローガーデン」に自分の操縦で大空高く飛び爽快感を感じることでできる新アトラクション「ぶんぶんばち」が登場します。

「ぶんぶんばち」は、小さなお子さまが初めての乗りものの体験を家族と一緒にできるアトラクションです。

自発性が発達し始める幼児のお子さまには、初めて乗り物を操る楽しさや達成感を、より小さな0歳からの乳児には、大空高く飛び上がる初めての世界やワクワク感を体感いただけます。

また、このアトラクションは、鈴鹿サーキットで多くのファミリーに30年以上愛され続け2005年に引退した「ぶんぶんばち」が大きく進化生まれ変わるものです。子供の頃に楽しまれた経験をお持ちのご家族には、その懐かしさを感じながら2世代や3世代でお楽しみいただけます。



※「ぶんぶんばち」イメージ



※「ぶんぶんばち」イメージ

■新アトラクション「ぶんぶんばち」の特徴

「ぶんぶんばち」は、みつばちが持つ籠型のライドに乗り込み、自分の操縦でライドを上下させながら、花の蜜を採りにいくアトラクションです。

空からの広い景色の眺めと共に、花の蜜を集め家族で協力してチャレンジする楽しさを同時に体感いただけます。

<主な特徴>

- ・小さな虫の目線になり大空高く飛び立ちます。
- ・大きな花の茎を軸に回転しながら動くライドを上手く操り花の蜜を採取できると、達成の証となる「お花のランプ」が光ります。

- 料金： 400円/1名 ※パスポート利用可
- 定員： 4名 ※4名でご乗車の場合、大人は最大2名まで可
- 利用条件： 4歳～ ※一人すわりできる0歳のお子さまからは中学生以上の付き添いで利用可
- 高さ： 塔体約18m ※搭乗者目線での最高到達地点：約11m

■幼児教育の観点を取り入れたエリア開発

～三重大学教育学部との共同プロジェクト～

“楽しい発見いっぱい”をテーマにオープンするエリア New「チララのハローガーデン」は、新アトラクションをはじめプレイフィールド「ぶんぶんばち広場」などエリア全体において、小さなお子さまがいつもと違った目線になることで得られる新たな発見ができる場所を目指しています。

その思いのもと、家族でより安心・安全に楽しみながらも、お子さまの年齢に応じた運動能力を踏まえ、遊びの先に成長に繋がる体験ができるよう、三重大学教育学部の監修協力により幼児教育の観点を取り入れた開発を進めています。



※プレイフィールド「ぶんぶんばち広場」(イメージ)

■三重大学 教育学部 山田康彦教授・富田昌平准教授 コメント

鈴鹿サーキットのエリア開発に関わることができ大変うれしく思います。

今回のメインターゲットは2歳から4歳の子どもたちです。この年齢の子どもはまだ1人でアトラクションに参加することは困難ですが、自分も何かしら「できた！」という達成感を体験したいという思いはあります。この思いに答えるべく、安心・安全のもと、遊びを通して身体運動やコミュニケーション、好奇心、探究心などを育むことができるように工夫しております。

この新しいプレイフィールドをぜひ思いきり楽しんでほしいと思います。



※初代「ぶんぶんばち」
1973年～1984年



※2代目「ぶんぶんばち」
1985年～2005年

■「ぶんぶんばち」について

新アトラクション「ぶんぶんばち」は、多くのファミリーに愛され続け、惜しまれつつも2005年に引退したアトラクションが大きく進化し新たに登場するものです。

1973年に鈴鹿サーキット初となる“吊り下げ式モノレール型”アトラクションとして誕生して以来、2代にわたり鈴鹿サーキットの名物として活躍しました。

その懐かしの「ぶんぶんばち」が、自分で操縦できる“ワイヤー式昇降型”アトラクションへと進化し、新登場します。

※アトラクション「ミニムーバー」営業終了のご案内

長くご愛顧いただきましたアトラクション「ミニムーバー」は、New「チララのハローガーデン」オープンに向け2016年10月中旬をもって営業を終了いたします。詳細については別途ご案内いたします。